

大阪における「スーパーシティ」の実現に向けて

2021年に内閣府が公募を実施した「スーパーシティ」構想。全国31区域から応募があり、1年にわたる審査の結果、2022年4月12日に大阪市域とつくば市域のスーパーシティ区域指定が閣議決定された。今号では、スーパーシティをめぐる動きについて紹介する。

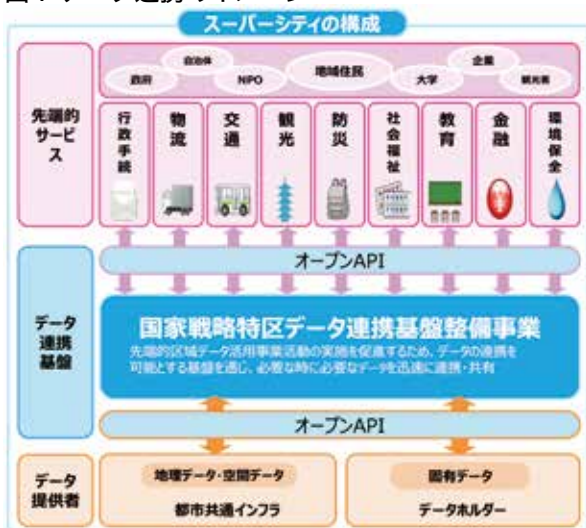
スーパーシティとは

「スーパーシティ」構想とは、国家戦略特区の枠組みを活用し、対象区域にて「2030年頃に実現される未来社会の先行実現」をめざす取り組みである。具体的には、AIやビッグデータといった先端技術を活用し、行政手続き、移動、医療、教育など幅広い分野で利便性を向上させ、生活全般にまたがる複数分野での先端的サービスの提供をめざしている。

この「複数分野での先端的サービス実現」のために、「データ連携基盤」を通じてさまざまな分野のデータを連携・共有すること(図1)や、必要となる規制改革を同時・一体的・包括的に推進していくことがその大きな特徴となっている。

区域指定により大胆な規制緩和や国の財政的な支援が期待できることから、内閣府の公募に対し、大阪府・市の提案を含め全国の31区域から応募があった。

図1 データ連携のイメージ



出所：地方創生サイト (<https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc/supercity/openlabo/supercity.pdf>)

大阪府・市による提案

大阪府・市は、大阪市域のなかでも「夢洲」と「うめきた」に焦点を当てたスーパーシティを提案した

(図2)。具体的には、夢洲で開催する2025年大阪・関西万博やその建設工事等における先端技術の活用(夢洲コンストラクション)、うめきたに関しては、リアルとデジタルの融合空間の創造等を実現する2期開発が盛り込まれている。

このうち、夢洲コンストラクションは、大阪府・市から内閣府への応募に先立ち、当会が都市創造専門委員会に所属する会員企業から提案に盛り込むべきアイデアを広く募集し、寄せられたアイデアを検討・整理して大阪府・市に働きかけた結果、採用されたものである。その概要を以下に紹介する。

図2 大阪府・市による提案の概要



出所：大阪府・大阪市スーパーシティ構想資料より作成

夢洲コンストラクション

「夢洲コンストラクション」とは、万博、IR(統合型リゾート)、さらには万博開催後の2期・3期開発など、今後さまざまな開発を控える夢洲での建設工事を円滑に進めていくための先端的な取り組みである。工事発注者や施工者などの関係者が「データ連携基盤」を共用して必要なデータを利活用するとともに、現行法のもとでは実現できない事案について

は「規制緩和」を働きかけることで、①建設工事現場内外の移動、②建設工事および資材運搬、③建設作業員の安全・健康管理の円滑化をめざす。

導入をめざしている先端技術の一つであるドローンを例にとると、高所などへの資材等の運搬(②建設工事および資材運搬)や、作業現場の見守り(③建設作業員の安全・健康管理)といった活用方法が想定されている。さらに、気象データや資材搬送データ等、ドローン運航に必要となるデータを共用・連携することにより、その他の工事車両の渋滞予測(①建設工事現場内外の移動)などへもデータ活用の幅が広がっていくことが期待されている。これらの実現には航空法の改正などの規制改革が必要となる。また、将来的には、空飛ぶクルマなど他分野へのデータ活用の展開も視野に入れられている(図3)。

「2030年の未来社会」に向けた今後の取り組み

こうした夢洲コンストラクションを含む大阪府・市からの提案内容が評価され、大阪府域はつくば市域とともにスーパーシティとして区域指定された。

この区域指定を受け大阪府・市では、行政・経済界・2025年日本国際博覧会協会(以下、博覧会協会)といった関係者が一堂に会し、具体的な計画を検討する場として「大阪スーパーシティ協議会(仮称)」を発足させる予定であり、当会も参画を予定している。

スーパーシティは、区域指定がそのゴールではなく、具体化に向けた検討はまだ緒に就いたばかりである。当会は、大阪府・市、関係各所と一体となってスーパーシティの実現および大阪・関西万博の成功、そしてそれらを通じた関西の発展に引き続き尽力していく。

(産業部 前林ダニエル慎吾)

「万博アクションプラン」に関する要望活動を実施

大阪・関西万博のコンセプトである「未来社会の実験場」の具体化に向けた政府による取り組みや検討状況をまとめた「2025年大阪・関西万博アクションプラン Ver.1」が2021年12月24日に公表された。アクションプランは、以降、半年ごとに改訂される予定となっており、5月24日には当会や大阪府・市、博覧会協会などが、政府・与党に対し次の改訂に向けた要望活動を実施した。

要望では「夢洲コンストラクション」を実現するための幅広い規制緩和についても言及した。今後の改訂時にも働きかけを続けていく。



若宮健嗣 国際博覧会担当大臣への要望

図3 移動・物流分野における先端的サービスの展開例

